

平成29年度版 MY WAY English Communication I New Edition

発行者		教科書	
番号	略称	記号	番号
15	三省堂	コ I	334

1-1. 生徒の知的好奇心を刺激する、現代社会をとらえた新鮮な題材を選びました。

- ・ことばの教育、国際理解教育、人間教育を題材内容の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、生徒の興味を喚起する内容としました。
- ・題材は、日常生活・学校生活、国際協力や社会貢献、言語と民族、人権、比較文化、平和や地球環境、自然科学や芸術、歴史、人間としての生き方など多様な内容にしました。
- ・場面や登場人物は、英語が広く使われている現況と国際理解の課題との関係から、日本を中心に、英米を中心とした英語圏諸国、アジア、ヨーロッパ、オセアニア、中・南米、アラブの国及び人物を配置しました。

1-2. コミュニケーションという観点を重視し、言語の使用場面と働きを明確かつ多岐にわたって設定しました。

- ・「本課」「Self Expression」「Activity Corner」では、言語の使用場面を考慮し、4技能の総合的・統合的な関連が図れるように、スピーチ、書籍記事、説明文、物語、対話、レポートなどさまざまな形式を工夫しました。
- ・「Activity Corner」では、特に言語の働きに留意し、会話やスピーチで多用される慣用的な表現についても、中学校における学習を踏まえながら、基本的なものを精選して系統的に扱いました。

2-1. 教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせると同時に、授業計画に柔軟に対応できる構成としました。

2-2. 4技能を総合的・有機的に関連づけた活動が行えるようにしました。

- ・本文の内容を問うリスニング問題や「Sounds」など、「聞く」活動や音声指導がしやすいよう工夫しました。
- ・「Activity Corner」では「聞いて話す」「読んで書く」「書いて話す」など、4技能を組み合わせる活動ができるように配慮しました。

2-3. 言語材料は、中学既習の基礎・基本の定着と、新出事項の学習がしやすいように配列しました。

- ・巻頭に「Starter」を設け、中学校における基本事項の確認とし、本課に負担なく移行ができるように配慮しました。
- ・新出の文型・文法事項の導入には、既習事項を前のセクションに配置する（例：中学校で既習の

「現在完了形」を復習した後に「過去完了形」を導入する)などの工夫をし、無理なく学習できるようにしました。

- ・文型・文法学習の「Grammar」のコーナーには十分な分量を割り、生徒の自学自習のしやすさにも配慮しました。
- ・学習した文型・文法事項はその後の本文で繰り返し扱い、反復学習ができるようにしました。
- ・「文法のまとめ」を2課ごとに配置し、主な文法事項を包括的に捉え直して、より汎用性の高い活用に結びつけられるように工夫しました。
- ・巻末付録に、「基本項目一覧表」「文型・文法一覧表」を設け、生徒が文法事項の整理と確認をしやすいうように配慮しました。

2-4. 本文を多角的に読むための工夫をしました。

- ・「Reading Skill」を各課の第1セクションに配置し、読み方の技術を基本から段階的に学習できるようにしました。
- ・各課の課末に「考えてみよう」を配置し、PISA型読解力の強化を図りました。

2-5. 指導上・学習上の便宜を図った紙面構成としました。

- ・本文の内容確認や学習した文法事項の解説・演習などを本文の右ページにまとめた見開き構成で、学習の見通しを立てやすくしました。
- ・各セクションで学習する文法事項は、本文中には<G>マークで該当する文を示し、学習ターゲットを明確にしました。
- ・脚注には、本文の内容に関するQ&Aを配置しました。また、本文右ページには「Read Again」でセクション全体をつかむ内容確認の問題を配置し、内容把握をしやすくしました。
- ・脚注には連語・熟語、表現を示しました。表現の一部については訳語や例文を付し、生徒の学習のしやすさに配慮しました。

2-6. 発展的な学習ができるように、さまざまな材料を用意しました。

- ・各課の後には「Optional Reading」を選択的教材として配置し、本課に関連するテーマを別の角度・視点から考えることができるようにしました。
- ・各課の課末の「Self Expression」や「Activity Corner」の「Let's Talk」では、幅広く展開のしやすい話題を選定し、より広範な自己表現活動やグループ活動ができるようにしました。

2-7. 写真や図版を効果的に用い、学習効果を高めるための工夫をしました。

- ・写真や図版を豊富に配置しました。題材に関する興味を喚起し、内容理解の一助にもなります。
- ・レッスン扉の写真は、写真下の「Before You Read」などを用いて、生徒の題材に関する背景知識を活性化させ、題材に関する導入がしやすくなるようなものを選定しました。